

府中西部地域実質化された京力農場プラン

市町村名	地域名	(該当集落名)	当初作成年月	更新年月
宮津市	府中	溝尻・国分・小松・中野	令和6年3月	

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	30.60 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	1.59 ha
c 地区内における <u>80歳以上</u> の農業者の耕作面積の合計	0.29 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.29 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
(備考)	
dは、5年以内に引受意向のある面積	

2 対象地区の課題

課題
1 守るべき農地の明確化…当地域において、溝尻・国分地域は農振農用地エリアで水稻のほか、露地野菜、醸造用ブドウの栽培が行われ、中野地域ではオリーブ栽培も盛んに行われているが、農振農用地から外れており、今後の土地利用のエリア設定について見直しが必要となっている。
2 担い手の確保…専業農家や後継者が確定している経営体は僅かで、現状では第二種兼業農家や他産業からの定年帰農者により農業を維持している状況にあり、さらに集落内農家が高齢化・減少していく中では非農家を加えた農道・水路等農業基盤の施設管理、鳥獣被害対策について、地域全体で考えていく必要がある。
3 組織的な取組の強化…耕作放棄を未然に防ぐ機動的な営農組織や担い手確保のための受皿づくりに加え、観光地を活かした取組が課題となっている。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

規模拡大志向農家や中核的担い手を中心に農地集積・集約化による農地利用の効率化を進める。